

授業改善のための 10 のアクション（単元レベル） 授業づくり部会（R3.1.27）

見 通 し	①	単元や題材の学習を通して、身につけたい資質・能力を明確にしている。
	②	実生活や実社会とのかかわりを意識した題材や活動を設定している。
	③	生徒と単元の目標を共有しながら、単元のゴールイメージを持たせている。
探 究	④	自己の課題を発見したり考えを形成したりする場面をつくっている。
	⑤	対話の場や対象を明確にし、ねらい達成に適した活動を設定している。
	⑥	既習を生かし「見方・考え方」を働かせながらより深く思考させている。
	⑦	学習用語・表現を使い、根拠に基づいた論理的な説明をさせている。
	⑧	発問や切り返しを工夫するなど、生徒の考えをつなげ、広げるよう支援している。
振 り 返 り	⑨	学習内容や学習方法を振り返ることを通して、学びの自覚を促している。
	⑩	学びを価値付けし、次の学習や実生活との関連を意識させるなど、学ぶ意欲につなげている。

<留意点>

- ・全教科共通で活用できるように、一般化された言葉で作成してある。これをもとにして、各教科に合った具体的なものに改良してもよい。
- ・単元レベルのものであり、1時間の授業ですべてのアクションを行うというものではない。
- ・1時間レベルでは、「本時は特にこれ！」というものを意識して授業をデザインする。
＝研究授業等における「参観の視点」になってくる。
- ・評価とどう絡めていくかは、今後の検討事項である。